学校番号	3010

令和5年度　工業（建築デザイン）　科

教科	工業	科目	造形基礎	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築物を設計するにあたって必要な基礎造形力を養うため、平面構成・立体構成・デッサンに取組む。感性を磨くために創意工夫を行いながら取り組むこと。修得には原則、すべての課題の完成と提出を必須とする。

履修条件

各課題をとおして表現する力を養い、合評をとおしてさまざまな表現があること、自身の表現の特徴を理解することを意識し、様々な作品の完成度をあげられる方法や技術を習得する。

2　学習の到達目標

・様々な作品の完成度をあげられる方法や知識・技能を習得する。
・各課題をとおして表現する力を養い、合評をとおして様々な思考し、表現する力を身につける。
・課題の表現の特徴を理解し、作品を取り組む意欲と関心をもつ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：意欲・関心
観点の趣旨	基礎造形作品などの表現の工夫やその構成理論などを理解し、そのよさや美しさが建築に応用されていることを知る。また創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	建築物における意匠表現や構造美に関心を持ち、その表現力や感性を養うために意欲的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年	デッサン	形のとり方 構図 質感	a.表現力や感性を養うために意欲的に取り組んでいる。 c.創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	学習状況の観察 □	課題の取組状況	課題の提出状況
	平面構成	線造形の平面構成 面造形の平面構成 色彩	a.建築物における意匠表現に関心を持ち、その表現力や感性を養うために意欲的に取り組んでいる。 b.感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 c.創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 また、表現の工夫やその構成理論などを理解し、そのよさや美しさが建築に応用されていることを知る。	学習状況の観察 □	課題の取組状況	課題の提出状況
	立体構成	紙を使った立体造形 ビルダーカードを用いた立体造形 スチレンボード用いた 立体造形 竹ひごを用いた 立体造形	a.建築物における意匠表現に関心を持ち、その表現力や感性を養うために意欲的に取り組んでいる。 b.感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 c.創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	学習状況の観察 □	課題の取組状況	課題の提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度